



おはなしじょんぐるーず BROADSIDE



2020.1.26
LIVE@POTOS

Vol.08



バラッド！

QRコードから各曲の
歌詞・和訳が見られます

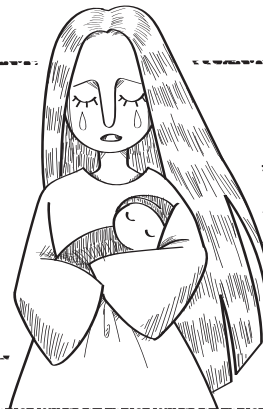
それは英国などで古くから歌い継がれてきた物語歌でございます。
奥方様たちが大好きな騎士物語であったり、あるいは男女の悲しい恋の歌、かと思えば戦いの歴史や、ヒーローを待ちわびる民衆の歌、時には人生の教訓であったり、幽霊や妖精のお話だったり、はたまた凄惨な殺人事件だったりするのです。
それらは当時の吟遊詩人などによって広められ、今尚、我々の知る音楽の中に息づいているのでございます。

チャライ男に翻弄される女たち

The Month of January

最初のおはなしは、ちょっと不思議な物語、The Month of January (1月のこと)でございます。

若いイケメンチャラ男には気をつけろ、という教訓めいた歌ですが、途中から出てくる赤ん坊を抱いた少女は一体何者なのでしょうか。寒い雪の中佇む彼女は、生きていたのか、はたまた幽霊なのか歌は示してア



くれません。
皆さまのご想像におまかせするばかりでございます。



Binnorie (The Twa Sisters)

マター・バラッド(殺人のバラッド)と呼ばれるジャンルの中の1つ。

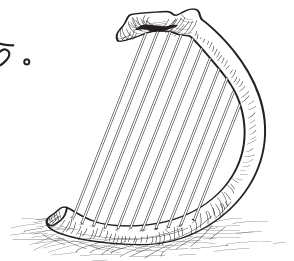
1656年にブロードサイド(かわら版)に“The Miller and the King's Daughter”として掲載されたのが最初でございます。沢山のバージョンがあり、新しいバージョンではクルエル・シスター(残酷な姉)というタイトルでも有名。

おそらく、騎士ウィリアムは政治的に姉を正妻にして、妹を愛人にするつもりだったんでしょう。

法律的には本当は許されていないのですが、中世などではよく見られア

る状況でございます。

歌の中に繰り返して出てくる「ミルダム(milldam)」という単語ですが、これは粉を挽くための水車用の小さなダム(堰)のことを指します。



また、水に流される美女、というのも中世からよくあるモチーフで、アーサー王物語に登場するアストラットのエレインやシャロットの女(小舟に乗せられているパターン。赤毛のアンが真似をしている)や、ハムレットに登場するオフィーリアなどにも見られます。

水は異界への入り口であり、この後に起こる超自然的な現象を示唆しているようにも見えます。

← John Faed “The Cruel Sister” より

